

広島県立尾道特別支援学校



続いて、広島県立尾道特別支援学校の取組を紹介します。

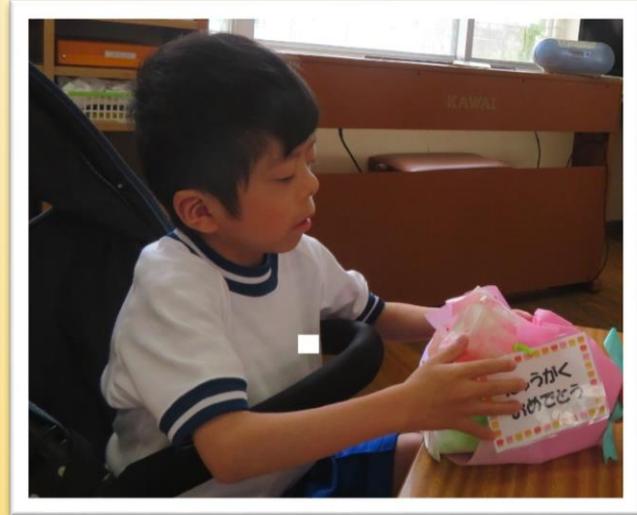


尾道特別支援学校は、幼稚部から高等部までの聴覚障害や知的障害のある子供たちが通う、尾道市の自然豊かなのぞみが丘にある学校です。「自律し地域・社会に貢献できる人材の育成」を目指して、学年をこえて関わり合う活動や地域とつながる取組を大切にしています。

新入生歓迎会

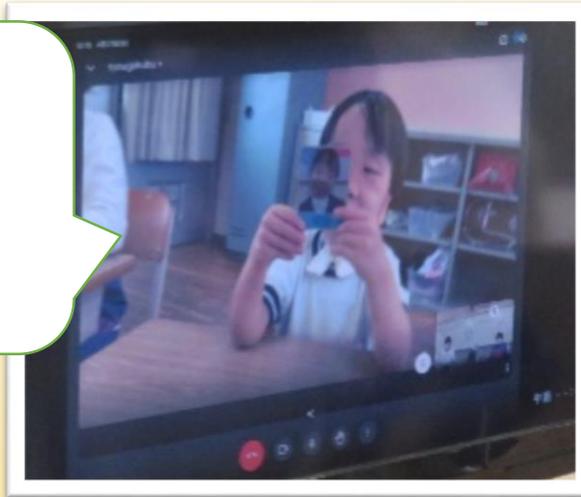


6年生は、自分たちの声が届いているか、他の学年の反応を見ながら進行了ました。



小学部では、4月下旬に、新入生歓迎会を実施しました。コロナ禍で、集合することが難しかったため、リモート形式で行いました。1年生に喜んでもらうために、どんなことができるか、6年生を中心にアイデアを出し合いながら準備を進めました。当日は、6年生が進行し、自己紹介を行ったり、1年生にプレゼントを渡したりしました。

氏名の書かれた写真カード
を使って自己紹介しました。



画面越しの相手にも伝わりやすい
ように、「氏名」と「好きなもの」を書
いたカードを後ろに貼って自己紹
介しました。



自己紹介カードを自分
で作って自己紹介をし
ました。



自己紹介の場面では、氏名の書かれた写真カードや自己紹介カードを使ったり、好きなものを発表者の後ろに提示したりするなど、リモートでも自分の言葉が相手に伝わるよう、一人一人が工夫して発表しました。新たな仲間を迎え、お互いのことを知る時間となりました。

ヨーヨー釣り



高等部の生徒が、ヨーヨーを釣りやすいように、紙を調整しています。



紙が破れていても人形をすくうことができたので、驚いています。



高等部の生徒は、幼稚部の子と一緒にヨーヨー釣りをしました。生徒は、幼稚部の子がヨーヨーを釣る楽しさを味わえるよう、釣り方の見本を見せたり、ひもを調整したりしました。ヨーヨーが釣れて喜んでいる子を見て、生徒もとても嬉しそうです。

文化祭に向けた取組



文化祭では、全員で制作した文化祭のテーマの看板を掲げました。全員で文化祭を成功させることを目指し、テーマは、全校から募集し、児童生徒会でまとめ、決定します。児童生徒会役員は、決定したテーマを各学級を回って伝えるとともに、テーマの看板作りについてお願いします。

「輪・和・笑」は、
「わ・わ・わ」と
読みます。



今年度のテーマは「本気キラキラわくわく輪・和・笑 感謝の秋」です。テーマのうち一文字を各学級で協力して制作しました。文化祭の様子については、尾道特別支援学校のホームページをご覧ください。

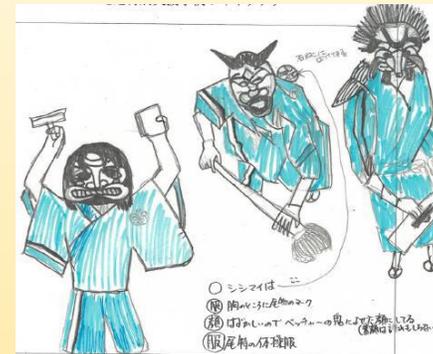


日常的なやりとり



子供たちと先生たちとのやりとりも大切にしています。健康観察簿を保健室に届ける時は、一人一人の特性に応じて手話やジェスチャーなどであいさつをしたり、先生からの質問に答えたりしています。子供たちは、先生とのやりとりを通して、適切なコミュニケーションについて日常的に学んでいます。

尾道特別支援学校 キャラクター制作



最後に、地域とつながることを目的とした取組を紹介します。尾道特別支援学校の子供たちは、調べ学習をしたり地域の人や卒業生の話を聞いたりすることで、地域のことを学んでいます。今年度は、地域の方に学校を知ってもらう取組のひとつとして、学校のキャラクターを制作しました。全校に呼びかけ、キャラクターのデザインを募集し、投票を行いました。



はちまきには、左から指文字で「お」「の」「と」「く」が入っています。



こちらが、決定したキャラクター「おのとくにゃん」です。小学部の児童がデザインしたものです。はちまきには、指文字で「お」「の」「と」「く」が入っています。今後は、グッズ制作等を通して、地域とつながることを考えているそうです。



ご清聴ありがとうございました。

これからも、尾道特別支援学校は、他者とかかわる活動を大切にし、子供たちの自立や社会参画を図るよう取組を進めていくとのことです。

以上で、尾道特別支援学校の取組の紹介を終わります。ご清聴ありがとうございました。